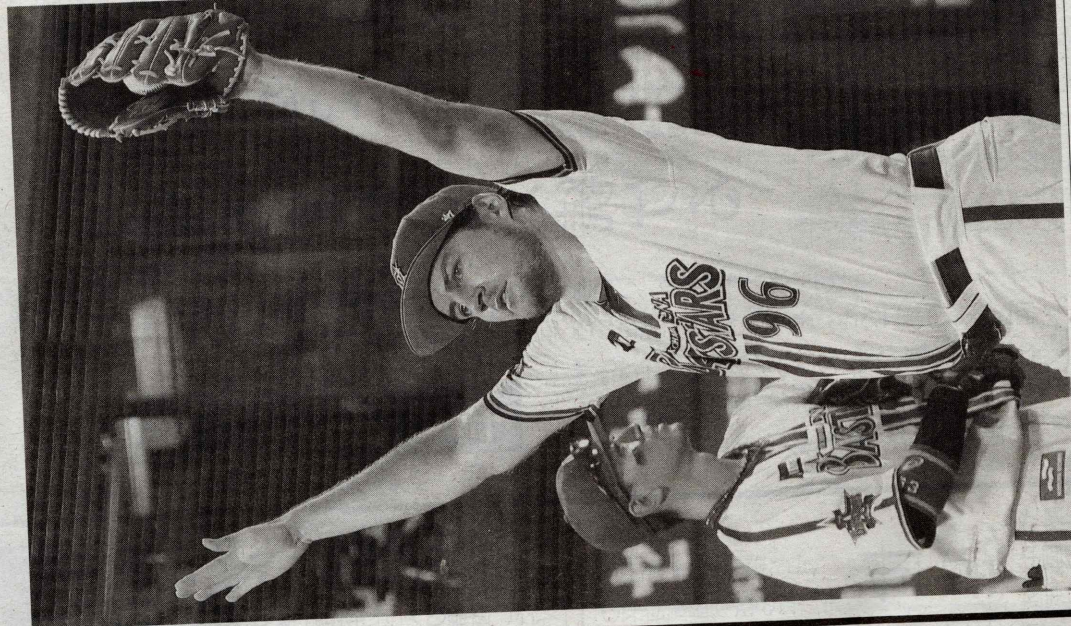


バウアー一発奮 完投劇

低めで一発封じ接戦制す



6勝目を挙げ、ファンの歓声に応えるバウアー

DeNA ヤクルト

大学では機械工学を専攻し、野球でも科学的なデータに基づいたトレーニングを重視し理論派。DeNA・バウアーはマウンドに上がるとそんなイメージとはかけ離れた闘志をみせる。中4日での登板ながらも128球と力投、2失点完投でチームの連敗を止めた。

1点差に迫られた直後の八回、死一塁、ヤクルト・村上をスクルカープで三振に仕留める大声でほえた。この時点です

で、来日後最多となる118球。さすがに交代かと思われたが、裏の攻撃で自らの打順が回ると迷いなく打席へ向かい、客席からは大歓声が上がった。真つすの制球が特に終盤に良かった。最後まで投げ切れてよかったと勇気たっぷり。

チームは交流戦後、12試合のうち3分の1を1点差で取れている。前日には延長12回、4時間37分におよぶ接戦を捕逸で競り負け、悔いの残る負け方をしたばかり。重苦しい雰囲気だっただけに、バウアーがもたらした1点差での勝利は1勝以上

の重みがあるだろう。「バウアーの投球がチームに与えてくれたものは非常に大きい。いいきっかけにしないといけない」と三浦監督もつなげず。

来日してから7試合連続で計11本塁打を被弾していたが、直近3試合は0本に抑えている。高めの球を痛打されていたことにしっかりと対応。修正、この試合でも低めの制球が光った。サイ・ヤング賞投手が日本の野球に順応し、誰よりも本気向き合う姿が、チームにとって大きな奮発材料になる。

(藤田翔)

セ・リーグ

DeNA 3-2 ヤクルト

⑮DeNA 7勝4敗1分
 (横) 浜、31.938人、2時間50分)

ヤクルト 0 0 1 0 0 0 1 0 | 2
 DeNA 0 0 0 0 3 0 0 0 X | 3

(ヤ)丸山翔、國石川2勝5敗、尾仲一内山

(D)國バウアー-6勝2敗-伊藤 園ヤ4D8
 DeNAは1点追う五回桑原の適時打で追いつき、ソトの2点打で勝ち越し。バウアーが2失点完投で6勝目。ヤクルトは五回の2失策が響いた。

広 島 4-0 阪 神

⑮阪神 7勝5敗
 (マツダスタジアム、26,010人、2時間41分)

阪神 0 0 0 0 0 0 0 0 | 0
 広島 0 2 1 0 0 0 0 1 X | 4

(神)國村上6勝4敗、及川一坂本、梅野

(広)國野村1勝、ターリー、島内、矢崎一坂倉

困小園①(村上) 阪神5広6
 広島は二回小園の2ランで先制、三回無失点の好投で今季初勝利、4投手の連続で零封。阪神は打線つながらず。

パ・リーグ

楽 天 3-0 オリックス

⑮オリックス 9勝4敗
 (新日本プロ野球、12,087人、2時間52分)

楽天 0 0 0 0 0 0 0 0 | 0
 オリックス 0 0 1 2 0 0 0 0 X | 3

(オ)國山下7勝2敗、ワグネル若月

(楽)國岸3勝2敗、酒居、國松井裕1勝2敗17S一敗谷 園オ7楽8
 楽天は三回小深田の中前打で先制、